

Rep
ort

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2023.3.9

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日) (雨天は小雨でも中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

2023年5月までの石神井川観察は、3/24(金)、4/13(木)、4/28(金)、5/11(木)、5/26(金)
9:30JR社宅前街路の観察 10:00帝京大学病院北側の御成橋たもとから再出発

春！ ツバキは木偏に春と書く 椿！



野草でも珍しい木でもなんでもないので、資生堂美容学校の裏庭に咲いているツバキの赤がとても印象的な3/6の石神井川緑道観察活動でした。

この椿とは大きさが全然違うのですが、足元を見れば、もう春のオンパレード。やはり赤い色の花が目立ちます。

右はムラサキカタバミとホトケノザの「赤花」そろい咲き。前回の2/24号で紹介したカラスノエンドウは、2週間後の3/6には満開状態。あちこちで眼を楽しませ



てくれています。
マメ科特有の人を食ったような顔が面白い。



直径2mmの花 ここにも命が燃えている！



←横幅 20 cmほどの空間ですが。ここにフラサバソウの花が 20 個以上咲いています。この花を大きく拡大するとオオイヌノフグリに似てきます。同じオオバコ科の仲間です。

↓こちらはキュウリグサ。冬の間は花茎が伸びて



いませんが春になるとぐんぐん伸びてきて、まるで別種のように姿を変えます。この花も虫眼鏡で見ないと形が分からないぐらいに小さいのですが、拡大するとワスレナグサとそっくりです。同じムラサキ科の仲間です。石神井川緑道では他所に見られない大群落が広がっています。

新装された遊歩道 スクラップ&ビルドが続くのか



桜の植え込みの下がのっぺらぼうの地面では味気ないと、この歩道をつかった人たちが考えたのでしょう、ところどころにキンシバイの苗が植えられました。でも、地面をよく見れば、「ほら、草が生え始めたよ！」。そこにはホトケノザが花を咲かせていました。野草もそれなりに管理する必要はあるのですが、植栽物の管理と同じ手間暇をかければ、まちなかの遊歩道は自然味豊かな緑道に

なるのに残念です。ひとりでに生えてくる野草を「雑草」として敵視する考え方を変えていかなければ、まちなかのみどりはスクラップ&ビルド（造っては壊し、壊しては造る）の無駄の繰り返しです。

ウマノアシガタが保護されていることに望みをかける

でも、不思議なことに、この2年間、ウマノアシガタだけは草刈りから免れています。今年は遊歩道の縁石まで生育域が広がっています。お役所か業者か、誰かがこれは残そうと考えているに違いないのですが、ここに石神井川緑道の野草保護のかすかな望みがあります。（以前は写真の左上に見える側壁の上にはしか生育していませんでした。）

